

「同じ絵を繰り返す」理由別対応ガイド

～やめさせるより、一緒に楽しむよう～

繰り返すには必ず理由があります。タイプ別に読み解いて

タイプ	こんな様子があるよ (特徴の見分け方)	おすすめの関わり方	避けたい言葉
タイプ① 好きなキャラを極めたい (技術の習得) ★	<ul style="list-style-type: none"> 毎回ほぼ同じキャラを描く 細かい部分にこだわる 「もっと上手く描きたい!」 と言っていることがある 	<ul style="list-style-type: none"> 「前より上手になったね!」と変化を見つけて伝える 好きな気持ちや努力を認めてあげる 描く時間をゆったり確保してあげる 	<ul style="list-style-type: none"> ✕ 「またそれ?」 「いい加減にして」 「他の絵も描きなさい」 
タイプ② 描くと安心する (感情の調整) ☘	<ul style="list-style-type: none"> 不安な時や疲れた日に同じ絵を描くことが増える 気持ちが落ち着くまで繰り返し描いている 黙々と集中して描いている 	<ul style="list-style-type: none"> 描く時間を「安心タイム」として見守る 気持ちに寄り添い、無理に話を聞き出さない 「落ち着くね」「よくがんばったね」と伝える 	<ul style="list-style-type: none"> ✕ 「違うの描けば?」 「早く終わらせて」 「そんなことで泣かないの」 
タイプ③ 同じものしか描けない気がする している (自己制限)	<ul style="list-style-type: none"> 「どう描けばいいかわからない」と止まる 新しいものを描くと「変だよね」と不安になる 「私、これしか描けない」と言うことがある 	<ul style="list-style-type: none"> 一緒に描いたり、選択肢を少しずつ増やす 小さな変化を提案して、できたことをほめる 「いろんな描き方があるよ」と伝える 	<ul style="list-style-type: none"> ✕ 「想像力ないね」 「もっと考えて描いて」 「それじゃつまらないよ」 
タイプ④ 強いこだわりがある (発達特性の可能性) 🧩	<ul style="list-style-type: none"> 順番や色、形が決まっっていて、崩れると強く嫌がる 同じ流れでないと落ち着かない 興味の対象がとてもしっかりしている 	<ul style="list-style-type: none"> 無理に変えず、安心できる形を尊重する ルールや流れを大切にし、見通しを持てるようにする 興味を広げるきっかけをゆっくり探す 	<ul style="list-style-type: none"> ✕ 「普通に描いて」 「こだわりすぎだよ」 「早く違うことしよう」 

こんな声かけをしてみよう!

- 「この前より、ここが細かくなったね!」

- 「今日はどんな気分の○○かな?」

- 「ちょっとだけ違うバージョンも見してみたいな♪」


“やめさせる”より、
「どうして好きなんだろう?」と見てみると、
子どもの気持ちが見えてくる場合があります

「同じ絵を描かせるテーマ案」

- 前回と少し違うポーズで描いてみる

- 朝・夜バージョンを描き分ける

- 家族や友だちを追加してみる

- 「もし○○だったら?」をテーマにする


★「同じ」の中に、小さな変化を見つけるのがポイントです◎

同じ絵を描くことは、「安心したい」「うまくなりたい」「好き!」という気持ちの表れかもしれませんが、無理に止めるより、まずは子どもの「好き」を一緒に楽しんでみてほしい。

もっと詳しく知りたい方は

noteの完全版へ▶